
HP 1

5 0 5

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

HP1

【Nコード】

N6977P

【作者名】

505

【あらすじ】

魔王が消え、平和になった世界

それは、同時に勇者の消滅を意味した

序章

人々の笑い声が溢れている世界

街は活気を取り戻し、人々は自由に世界を移動できるようになった。

1年前、この地を支配する魔王が一人の勇者によって倒された。

人々は彼を称えた

世界の中心に彼の銅像を立て、取り囲んで宴会をした

子供たちの憧れとして、勇者は、多くの子供の夢となり

将来の目標となった

半年ほど前までは……

現実問題として、魔王がいない世の中に勇者は不要となった。
悪が消え失せた世界では平和が当たり前となってしまった
それは必然的に勇者という存在の消滅を意味した。

魔物がいなくなったので退治や護衛のクエストが消えた：

ギルドだった建物は物置になった

一緒に冒険をした仲間も故郷に帰っていった：

武器屋や防具屋は殆どが閉店し、宿屋や鍛冶屋になっちまった：
鍛冶屋にしても、もう剣の代わりに包丁を持ってくる。

ひとつの世界が始まりと同時にひとつの世界が消えようとしていた。

今更、勇者になる何ていったら危ない人に思われてしまう程だ

そんな平和な世界のとある街

この街の外れにある酒場で明るいうちから酒を飲む青年

彼の父は偉大な勇者だった：

そう、この青年こそ1年前に魔王を倒した英雄の息子であった。

彼の父は半年前に失職し、今では宿屋を経営している

すでに世界から勇者という言葉は無くなり、無価値となってしまっていたのだった：

彼は現在、パン屋でアルバイトをしている

元勇者の息子：、未来の勇者だった筈の彼の人生が

今、始まった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6977p/>

HP 1

2010年12月31日00時11分発行